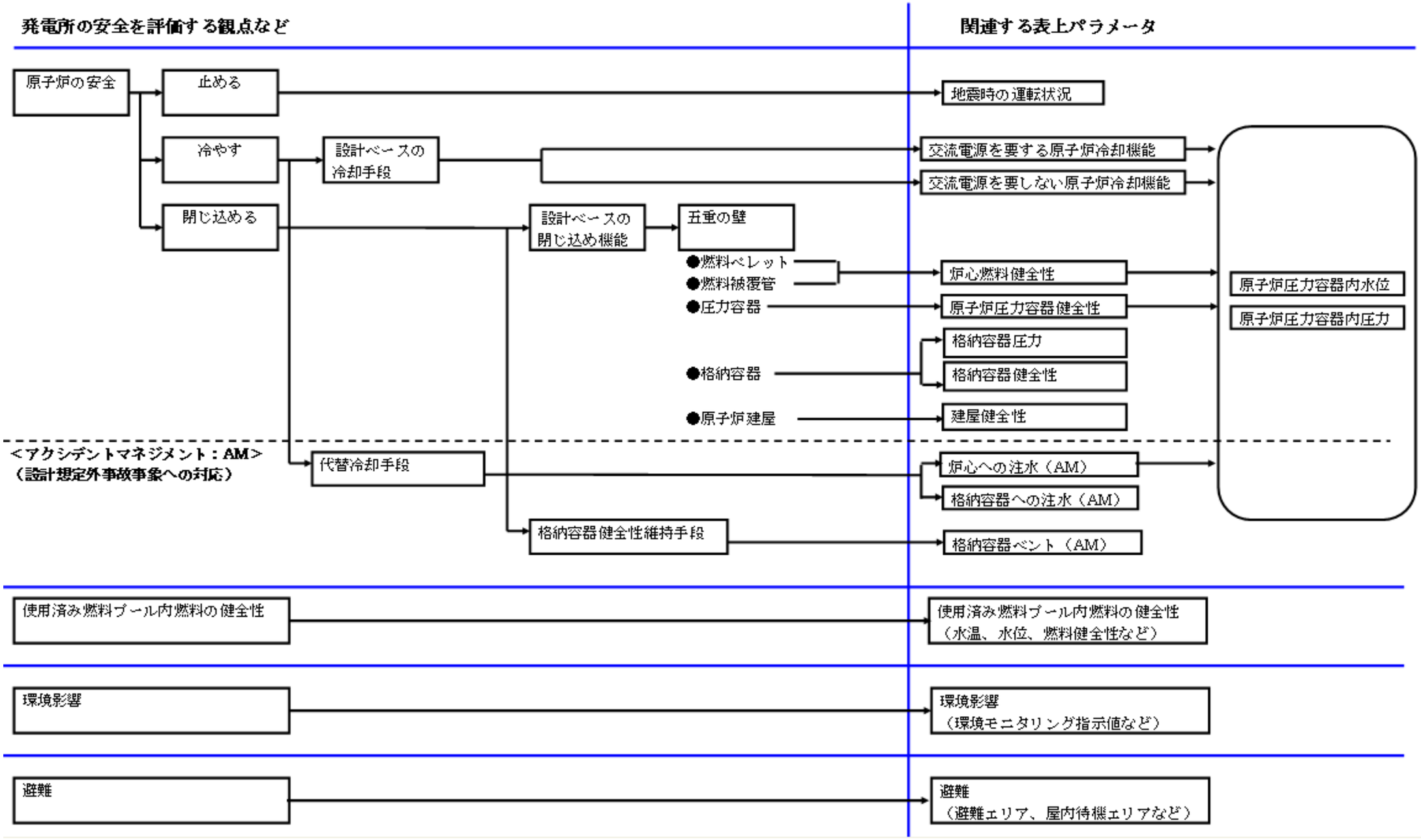
福島原子力発電所の状況 ／3月18日　22:00現在（公開情報を元に原産協会とりまとめ）

発電所名	福島第一原子力発電所					
号機	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機
電気出力 ／熱出力(MW)	460／1380	784／2381	784／2381	784／2381	784／2381	1100／3293
型式	BWR-3	BWR-4	BWR-4	BWR-4	BWR-4	BWR-5
地震時の運転状況	運転中　⇒　自動停止	運転中　⇒　自動停止	運転中　⇒　自動停止	定期点検中	定期点検中	定期点検中
炉心燃料健全性	炉心損傷	炉心損傷	炉心損傷	燃料なし（使用済み燃料プールに移送）	健全	健全
格納容器健全性	健全	損傷の疑いあり	健全の可能性あり	健全	健全	健全
交流電源を要する原子炉冷却機能	機能喪失	機能喪失	機能喪失	必要とせず	必要とせず	必要とせず
交流電源を要しない原子炉冷却機能	機能喪失	機能喪失	機能喪失	必要とせず	必要とせず	必要とせず
建屋健全性	大きく損傷	損傷	大きく損傷	大きく損傷	健全	健全
原子炉圧力容器内水位	燃料露出（部分又は全体	燃料露出（部分又は全体）	燃料露出（部分又は全体	安全状態	安全状態	安全状態
原子炉圧力容器内圧力	安定	不明	安定	安全状態	安全状態	安全状態
格納容器圧力	不明	低　（損傷により低？）	低	安全状態	安全状態	安全状態
炉心への注水(アクシデントマネジメント)	実施中（海水）	実施中（海水）	実施中（海水）	必要とせず	必要とせず	必要とせず
格納容器への注水(アクシデントマネジメント)	実施中（海水）	検討中（海水）	実施中（海水）	必要とせず	必要とせず	必要とせず
格納容器ベント(アクシデントマネジメント)	一時停止	一時停止	一時停止	必要とせず	必要とせず	必要とせず
使用済み燃料プール内の燃料健全性	注水検討	（情報なし）	水位低、注水開始	水位低 プール内で発生した水素が爆発	使用済み燃料プール水温上昇中	使用済み燃料プール水温上昇中
環境影響	環境モニタリングによる放射線計測値 ：西門付近にて 287μSv/h（3月18日　12:00現在）					
避難勧告	20km圏内住民に避難指示 ＊20～30km圏内住民に屋内退避指示					
特記事項	現在最大の問題は、格納容器外使用済み燃料プール内の燃料の損傷。3号機については、17日よりプールへの放水を実施中。 外部電源を受電するためのケーブルを敷設中。2号機に接続予定。 原子力安全・保安院は、本事故を国際評価尺度（INES）においてレベル5と暫定評価。					

[情報源]
政府緊急対策本部発表、原子力安全・保安院発表、東京電力発表

[重要度]（原産協会の評価）
：低
：高
：深刻

表の説明

原産協会では、原子力発電所の安全確保の考え方である「止める」、「冷やす」、「閉じ込める」に着目し、事故状況を把握する上で重要なパラメータを選定し、本表を作成しました。発電所の安全を評価する観点と表上の各パラメータの関連を以下に示します。